

令和4（2022）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅰ 実施報告③

実施日：令和4年5月25日（水）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講者間にポリスチレン板を設置するなどの対策をとり、実施しました。

○ 演習「学習プログラムの作り方～魅力あるプログラムを企画してみよう」

栃木県教育委員会事務局生涯学習課副主幹 黒尾 貴英、社会教育主事 小山田 佳子

受講者 37 名に対し、研修会場を 2ヶ所設定し、それぞれの会場で黒尾副主幹と小山田社会教育主事が研修講師を務めました。

演習では、最初に学習プログラムを作成する際のポイントなどの説明があり、次にそれぞれ指定されている学習プログラムのブラッシュアップをするという個人作業を行いました。午後からは、各自がブラッシュアップを行った学習プログラムをグループで話し合い、今度はグループとしてのブラッシュアップを図りました。そして、その中から 1 回分のプログラムの計画を立てるという流れでした。そして、グループでブラッシュアップした学習プログラムの内容やポイントを発表し、その後他のグループのワークシートを見て回ることで、受講者同士の共有などを行いました。最後に、学習プログラムに対する事業評価の目的と意義、アウトプットとアウトカムについて説明がありました。

3 日間の研修を経て、受講者の表情からは不安感が消え、やる気が満ちていました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・目的とねらい、対象者、時期、どこに重きを置くか、継続と発展性など学習プログラムを企画・立案する際の視点を学びました。自分がプログラムを企画する時に活用したいと思いました。
- ・学習プログラムについて学ぶことができ、さらに他の市町の方々と交流することもできました。
- ・学習プログラムを作成する際に、一貫性を持たせることが大切であることを理解しました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp